

タクシー不足課題解消に向けた取組

～「移動の足」を確保する取組を推進中～

※京クル（日本型ライドシェア京都版）導入の背景

一般社団法人 京都府タクシー協会



※京都府タクシー協会では乗務員の仕事を動画でわかりやすく説明しています。

観光地である京都ならではのタクシー不足問題解消に向けて(京クルー)

京クルーの背景

【京都市域交通圏 乗務員の減少】

- 把握する平成21年度以降、毎年度3%程度の乗務員が減少。
(平成21年度11,217名⇒平成31年度7,953名、**10年間で約30%の▲3,264名減少**)
- 令和2年1月末、京都で新型コロナウイルス感染症の罹患を確認、乗務員の離職が加速。
(令和2年1月の8,080名⇒令和4年度末6,147名と**3年間で約24%の▲1,933名減少**)

【コロナ禍以降、タクシーの供給不足との指摘】

- 乗務員不足もあって、コロナ禍前の実働率70%前後からコロナ禍後の実働率60%前後と、10%程度減少。

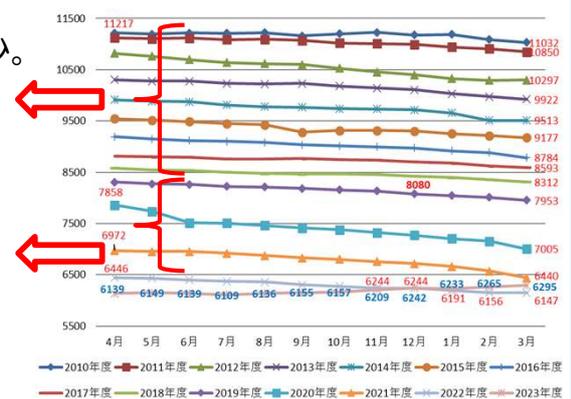
【京都駅を中心にタクシーのりばに徒列が形成】

- 令和4年11月の秋の観光シーズンを皮切りに、利用者利便の確保を図る通達が運輸支局から繰り返し発出された。
- タクシー不足に関する報道が目につくとともに、京都駅のオーバーツーリズムの切り取り報道が繰り返された。

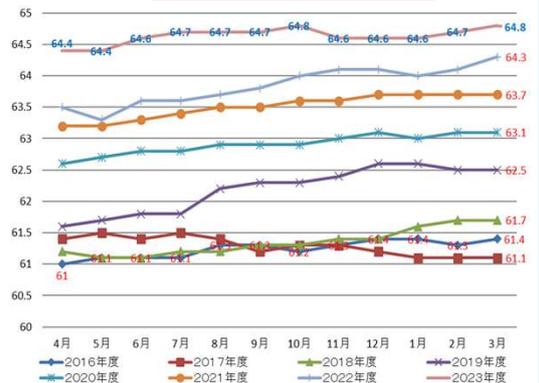
【デジタル行財政改革中間とりまとめ(令和5年12月20日)】

- 国土交通省において、タクシー不足問題解消に向けた新たな仕組みが創設(自家用車活用事業)。

運転者証交付数



平均年齢



京都駅タクシーのりばの現状と対策、マスメディアによるオーバーツーリズム報道

【京都駅烏丸口タクシーのりば】

- 待機車両数：54台(9列×6台)、フォーリンフレンドリータクシー(FF車)：8台
- JR2交付車両数：約4,900台(法人)、1,530台(個人) 合計 6,430台
- 対策の変遷

2色規制の時期：平成11年1月21日 ⇒ 3色規制の時期：平成23年12月～
⇒ 4色規制の時期：平成24年4月～現在



【京都駅八条口タクシーのりば】

- ショットガン施行日：平成29年11月15日(指定管理者：京都タクシー業務センター)
- 課金額：課金時間帯AM6:00～PM11:00の入構1回につき20円(H28.4.1～)
- 八条口のりばの待機車両数：大型車：3バース2台、FF車：2台+待機2台、貸切車：2～4台(それぞれ、時期時間によって変化)、一般タクシー：概ね40台程度
- 第2プール待機車両数：最大74台

○令和5年秋の観光シーズン以降の対策

- 金閣寺シャトルの運行、ポーター及びおもてなしコンシェルジュの配置、指導員の優先配置
- のりばのライブ中継、烏丸口4色規制の緩和(3列まではJR2があればフリー)
- シーズン中、関係機関による一体的な対策を実施(手荷物臨時預かり所、総合案内所)

※総合的な対策により、タクシーの徒列も緩和され、乗車までの時間も緩和



○観光地京都ならではのマスメディアによるオーバーツーリズム報道

- 京都駅バス・タクシーのりばについて、切り取った報道
- 観光地でのマナー違反報道や対策報道

R5年8月
菅義偉元総理の
RS解禁を検討 発言

新たな仕組みを活用した自家用車活用事業の取組み

デジタル行財政改革中間とりまとめ

- 政府の「デジタル行財政改革会議（議長：岸田総理）」において「デジタル行財政改革中間とりまとめ」が決議された。この中で「現状のタクシー事業では不足している移動の足を、地域の自家用車や一般ドライバーを活かしたライドシェアにより補うこととし、すみやかにタクシー事業者の運行管理の下での新たな仕組みを創設する。」とされた。

京タ協の取組み（観光地である京都ならではのタクシー不足問題解消に向けて）

【執行部で方向性の共有】

- デジタル行財政改革中間とりまとめ及び12月27日に開催された、全タク連全国会長会議を踏まえ、12月28日に京タ協正副会長会議を開催し、タクシー不足解消に向けた取組み推進の方向性を確認・共有。

【取組み推進の発信・運行開始セレモニー】

- 1月10日に経営委員会を開催し、取組み推進の方向性を共有、ガイドラインは執行部での作成を確認。
- 1月16日に会員に対し、規制改革推進に関する中間答申対応説明会を開催するとともに、取組み推進を要請。
- 1月19日に京都府及び京都市の交通政策担当部署と中間答申の説明と情報共有。
- 1月23日の京タ協主催「新春の集い」で、タクシー不足問題解消に向けた新たな仕組みへの取組み推進を要請。
- 2月1日に社会保険労務士と、新たな仕組みに対応する就業規則等の作成を共有・開始。
- 2月15日に京都市の交通政策担当部署と意見交換
- 2月15日の交通委員会、27日の経営委員会、29日の地域公共交通推進委員会南部分科会、3月1日の総務委員会、8日の労務委員会、26日の理事会で取組み推進を要請。
- 3月15日に会員に対し、京クルー・ガイドラインと関係規定集の説明会を開催。
- 3月22日に国交省のタクシーが不足する地域等の公表を受け、執行部の記者会見。
- 3月29日に国交省の許可基準通達に基づき許可を受け、4月20日に運行開始セレモニー（京都市役所前広場）。



実績

○京都市域：許可 21事業者、ドライバー 422人、稼働台数 5,950台、運行回数 38,315回、1時間あたり約1.1回（H7,3,16付け 国交省HP：https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_fr3_000051.html）

※A事業者：使用車両(最大)38両、ドライバー29名、1時間あたり(1.7回,3,500円)、当初貸出し、7/19から持ち込み車両開始(自家用車) *9/4現在

京クルー：日本版ライドシェア（京都編）

【許可事業者】：1.エムケイ(株)、2.宇治第一交通(株)、3.京都第一交通(株)、4.八光第一交通(株)、5.都タクシー(株)、6.(株)鐘
7.(株)キャビック、8.アオイ自動車(株)、9.ギオン自動車(株)、10.京都アサヒタクシー(株)、11.彌榮自動車(株)
12.(株)プラス、13.(株)モビリティネクスト、14.大バス関西タクシー(株)、15.洛東タクシー(株)、16.ホテルハイヤー(株)
17.近畿自動車(株)、18.ケイテイ(株)、19.帝産京都自動車(株)、20.ユニオン(株)、21.NuVe(株) R7.3.16 現在：21社

※主に、以下の内容がタクシーと異なる

- ① ドライバーは普通免許（一種）でも運転が可能、車両は自家用車両（白ナンバー）でも可能
- ② 運行する時間帯 * 月・水・木の 16時台～19時台 * 火～金の 0時台～4時台 * 金・土・日の 16時台～翌5時台
- ③ 事業者指定の配車アプリからの配車のみ ④ 支払いは配車アプリ内のみで実施 ⑤ 運賃はタクシーと同等（事前確定運賃と同様の計算方法により算出し、迎車料金も含めて運行事業者の認可運賃と合わせる）

スキーム



日本版ライドシェアドライバーの魅力発信動画の作成(京クルー)

令和6年10月7日(月)
京都府タクシー協会 事務局

本年4月から、観光地ならではのタクシー不足を補完するため、日本版ライドシェアを運行しているが、ドライバーの魅力など周知・認知に課題があるところ。

昨年12月に、京都運輸支局と京都芸術大学(学校法人 瓜生山学園)では、運転手不足など自動車運送分野の課題解決を目指す連携協定が締結されたことを受け、京都芸術大学の芸術教育によって培われた学生ならではの発想力を最大限活かし、日本版ライドシェアドライバー(以下「RSドライバー」という。)の魅力と採用に向けた動画を作成し、タクシーを補完するRSドライバーを広く周知することとする。

記

1. RSドライバーの魅力発信動画の作成

- (1) イラスト等を使用した分かりやすい動画
- (2) 動画再生時間は2分から3分以内(2分以内であれば最高)
- (3) RSドライバーの魅力と採用・認知につながる内容

2. 動画作成にあたってのRSドライバーのポイント(国交省通達:3.許可条件 (1)(2))

- (1) 運転免許は第一種運転免許での運転が可能(タクシー乗務員は第二種免許が必要)
- (2) RSドライバー所有の自家用車(乗車定員10人以下)での運行が可能
- (3) 安全・安心が大前提のためタクシー会社と雇用契約及び指導教育(管理)

※ガイドライン(2ページ) II. ドライバーの採用 II-1 応募要件 III. 研修指導

3. RSドライバーの運送形態・態様(国交省通達:3.許可条件 (4))

- (1) タクシー事業者が運送責任を負うもの(利用者とタクシー事業者で運送契約)
- (2) 運送の引き受け時に運送区間(発着地)が確定
- (3) 運賃及び料金が乗車前に確定(タクシーと同等)し、支払い方法はキャッシュレス

※ガイドライン(1ページ) I-1 日本型ライドシェアの概要

- (4) 自家用による輸送サービスとして利用者の事前承諾
- (5) 運行の開始前及び終了後に雇用契約先の安全確保に関する点呼が必要

※ガイドライン(4ページ) VII. 運行管理 ①業務前点呼 ②業務後点呼

- (6) 運行する時間帯はタクシー不足と指定された曜日・時間帯

※ガイドライン(1ページ) I-1 日本型ライドシェアの概要

4. 作成動画の周知

- ・京都芸術大学の学生によるSNSを活用した動画視聴の拡散

日本版ライドシェアドライバーの魅力発信動画の作成(京クルー)

～RSマン班・白馬の王子班～

令和7年3月7日(金)
京都府タクシー協会 事務局

1. 全体として

○正副会長等の感想

- ・映像、音声、ストーリーがマッチして、コンパクトでなじみやすく、面白い動画に仕上がっていると思いました。
- ・学生さんとの素晴らしいコラボ作品だと思います。
- ・両方に共通して、親しみやすい絵柄とシンプルなストーリーで、移動に困る人々を助けるライドシェアの存在が短時間で伝わるものになっていると感じます。
- ・学生さん達の技術とセンスに脱帽しました。素晴らしい作品をありがとうございます。

2. RSマン班(昨年末のプレゼンは男子学生)

- ・前編にドライバー側への認知、後編に利用者側への認知
- ・何故戦隊ものにしたのか
昔から放送されているものなので馴染みやすく、それが一般のドライバーが運転する本サービスと似ている点(身近なものだと考えてもらうため)
- ・映像としての華やかにするため
- 事務局の感想(昨年末)
シリーズものに最適(2弾・3弾と動画作成)、馴染みやすい、歌も面白い

○正副会長等の感想

- ・ユーモラスな描写と、NRSの存在があくまでタクシーを補完するものであるニュアンスも表されており、よくできていると感じました。
- ・耳に残るリズムと歌でインパクトが強くユーモアがある。

3. 白馬の王子班(昨年末のプレゼンは女子学生)

- ・キーワード:「救世主」「馬」「救世主」+「馬」= 白馬の王子様
- ・京都には観光客や留学生も多いため、ファンタジーな世界観にすることでグローバルな内容を目指し、より伝わりやすい広告を目指した

○事務局の感想(昨年末)

- インバウンドに受けそう、馬を車に見立てたおもしろさ

○正副会長等の感想

- ・行きたいところに行けない不自由さを、シンデレラになぞらえてストーリー展開されているところが素敵で、最後まで見たくなる仕上がりでした。
- ・ソフトで優しくストーリー性があり見入ってしまう。

観光地である京都ならではのタクシー不足問題解消に向けて（京クルー）

※新たな仕組みを活用した自家用車活用事業の取組み

タクシー不足解消 に向けた取組



- 京クルーは、観光地である京都ならではのタクシー不足解消に向けた取り組みの一つになります。
- 国土交通省が創設された新たな仕組みを活用したもので、不足する地域や時間帯の公表を受け、道路運送法78条3号の自家用有償運送を活用した「日本版ライドシェア」を指します。
- 具体的には、タクシー事業者が運行管理・整備管理を担い安全・安心を担保した上で、普通免許のドライバーを雇用、そのドライバーの自家用車やタクシー遊休車両を活用した事業になります。





京都のタクシー業界を支える協会の思想を象徴的に表現しました。
車の中の四角の集合体は、多くの企業が集まる協会の団結・結集した様を表現しています。

ロゴマークは京都府タクシー協会を象徴する重要な視覚要素です。